



米子駅周辺の公共空間利活用実証実験

概要版

米子市では、まちなかを「車中心」から「公共交通と歩行者中心」の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へ生まれ変わらせることをめざしています。

この度、米子駅周辺の広場、公園でイベントを同時開催し、駅周辺の賑わい創出や回遊性向上に向けた実証実験を実施しました。

1 米子市が目指す歩いて楽しいまちづくり

- 「車中心」から「公共交通と歩行者中心」の歩いて楽しいまちづくりを目指している
- 「まちなかウォカブル推進エリア」「新体育館周辺のまちづくり」「皆生温泉Tライン」などで歩いて楽しいまちづくりに取り組んでいる



中心市街地周辺を3つのエリアに分割
ウォカブルを推進する3つのエリア



米子駅周辺は、まちなかウォカブル推進エリアの中でも「米子駅周辺エリア」として米子駅南北自由通路整備を契機としたウォカブル推進エリアに位置づけられている。

2 現状の問題



米子駅北側



米子駅南側

これらの問題を解消していくことで、
米子市がめざす
「ウォカブルなまち」を実現していく

歩いて楽しいウォカブルな
まちをめざして



3 米子駅周辺調査及び実証実験

【開催イベント】まちなかテラス

開催日：令和5年9月17日（日）～23日（土）
場所：だんだん広場、明治町公園、目久美公園
その他：駅前通り歩道にストリートベンチ設置

調査日(令和5年)

調査項目	調査位置	9.17 (日)	9.18 (月)	9.19 (火)	9.20 (水)	9.23 (土)	9.26 (水)	9.30 (水)	11.6 (月)
米子まちなかテラスイベント		■	■	■	■	■	■	■	■
歩道人流計測	公園(3箇所)	●	●	●	●	●	●	●	●
	駅前通り歩道(a,b)	●	●	●	●	●	●	●	●
交通点交通量	米子駅周辺交差点(a~d)	●	●	●	●	●	●	●	●
	国道9号線沿い交差点(e,f)	●	●	●	●	●	●	●	●
渋滞長・信号サイクル	米子駅周辺交差点(a,b)	●	●	●	●	●	●	●	●
	国道9号線沿い交差点(e,f)	●	●	●	●	●	●	●	●
アンケート調査	来訪者アンケート	●	●	●	●	●	●	●	●
	事業者アンケート	●	●	●	●	●	●	●	●

a.米子駅前交差点 b.商工中金前交差点 c.ビッグシップ前交差点 d.イオン前交差点 e.加茂町2丁目交差点 f.久米町交差点



b 商工中金前交差点

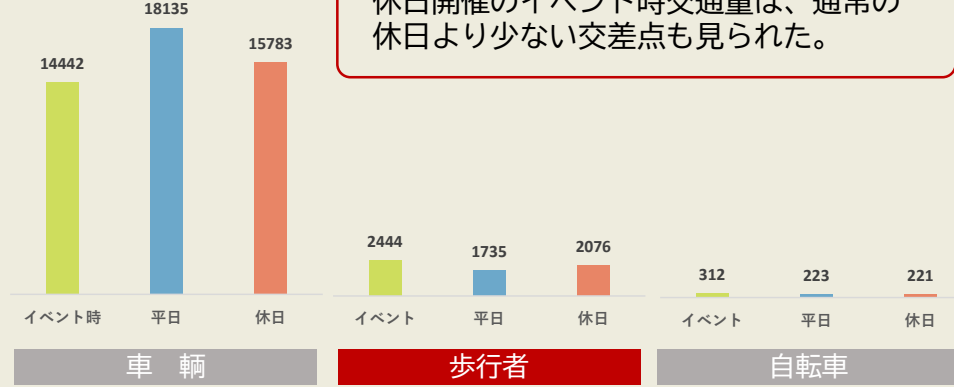
12時間交通量



駅前通りの歩行者は、平日が休日よりやや多いが、車輌に比べると歩行者は少ない。イベント時は平常時と比較すると人通りは多くなる(約1.3倍)。

a 米子駅前交差点

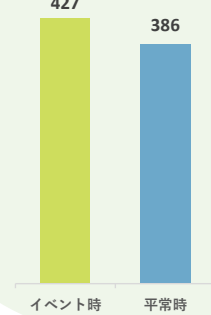
12時間交通量



米子駅周辺の車両交通量は、平日が多く休日は少ない。休日開催のイベント時交通量は、通常の休日より少ない交差点も見られた。

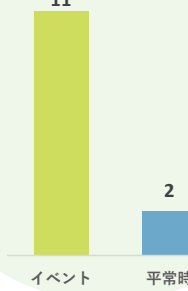
だんだん広場

1日当たり来訪者数



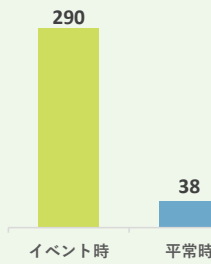
ストリートベンチ

1日当たり来訪者数



目久美公園

1日当たり来訪者数



e 加茂町2丁目交差点

12時間交通量

車輌については境港方面からの渋滞がみられた。(最大渋滞長540m)



最大渋滞長
L = 540m

f 久米町交差点

12時間交通量

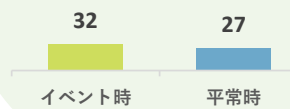
車輌については松江方面からの渋滞がみられた。(最大渋滞長720m)



最大渋滞長
L = 720m

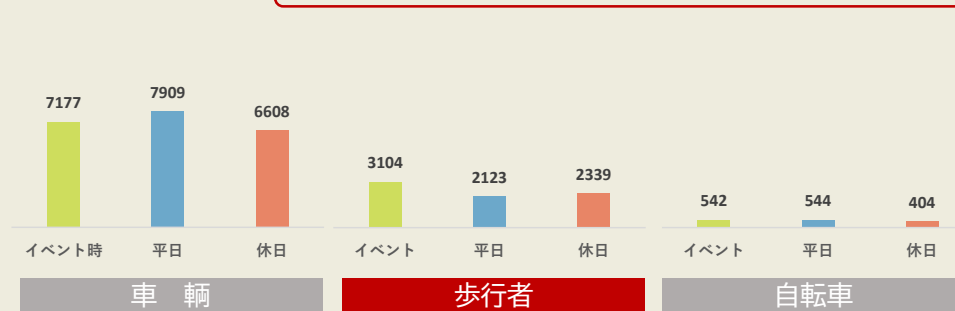
明治町公園

1日当たり来訪者数



d イオン前交差点

12時間交通量



駅前通りに比べ、歩行者が多く見られた。特に歩行者が一番多く見られた交差点であった。

c ビックシップ前交差点

12時間交通量



駅前通りに比べ、歩行者が多く見られた。車輌に比べて歩行者は少なくなるが、平日の人通りが休日より多い。



イベント時は平常時に比べて、公園の来訪者及びストリートベンチの利用者が多く見られた。

来場者アンケートの結果の主なポイント

(回答数100件)

- ・いろいろな年代の方が訪れ、大部分が米子市内居住者であった。
- ・来訪には半数が車利用だが、駅前ということもありJRやバスの利用もあった。
- ・過半数がイベントを目的に訪問し、家族での訪問が約半数を占めた。
- ・訪問先は目久美公園が最も多かった。
だんだん広場や駅前通りまでは行くが、明治町公園は少なかった。
- ・ストリートベンチは、半数が未利用だが、利用した人はくつろいでいる。
- ・賑わい創出には、イベント、カフェ、駐車場が必要と考える人が多い。

自由意見の
ポイント

- ◎多様な施設と活動の必要性
- ◎公共スペースの改善
- ◎交通とインフラの問題
- ◎地域イベントと観光の促進
- ◎地域のニーズへの対応

駅前通り周辺事業者アンケートの結果の主なポイント

(配布数183件、回答数56件、回答率30.6%)

- ・事務所や店舗、飲食店、美容院、宿泊施設がある。
- ・営業時間帯は、18時までの昼間営業が多いが、24時間営業もある。
- ・人通りの少なさに関する意見が多く、平日や昼間の少なさが伺える。
- ・今後は、人通りや賑わいに期待している。
- ・ストリートベンチの認知度は低く、23.2%しか知らなかった。
- ・賑わい創出には、イベント、駐車場、カフェ、キッチンカーなどが必要。
- ・駅前通りへの出店理由は、集客への期待が多い。

自由意見の
ポイント

- ◎施設と設備の工夫
- ◎食と飲み物の提供
- ◎文化的・教育的な活動
- ◎コミュニケーションと交流の機会
- ◎環境と快適さ

▶ 実証実験から見た課題のまとめ

課題1	活気ある多様なニーズに対応した家族や若者に優しい場所への転換 現在の駅前通り周辺は、活気に満ちた通りにはなっていない。特に日中の歩行者が特に少なく、目的地となる施設が少ない。家族で出かけてみたくなるような目的地、若者が滞留できる居酒屋以外のカフェやキッチンカーが来る空間など賑わいのある空間を求める声は多い。
課題2	多様な年齢層が楽しめる「飲食」「文化的」「交流」「快適な環境」の充実 イベントにはいろいろな年代の人が来訪している。それぞれの年代が楽しめるニーズを的確に捉え、交流したり、快適な環境をつくったり、文化的な活動をしたり、多様なイベントの提供が必要。特に、暑い夏の日差しを遮る場所で冷たい飲物を飲むなど、気軽に休憩をとれる場所を求める声は多い。
課題3	公園をより安全で快適に、アクセスしやすい場所へと変化させる 駅周辺の公園を周遊するイベントにより、行きやすい公園とあまり人が訪れない公園がある。植栽やベンチ、遊具などの画一的な公園だけでなく、利用者ニーズを把握しながら魅力的な公園とし、人が滞留する空間へとリデザインする必要がある。
課題4	がいなロード周辺の公共空間の利用促進、商業施設の多様性による地域の持続的発展 がいなロードの整備により米子駅の南北が繋がったことで、米子駅周辺に人の流れができ賑わいが創出されることへの期待度は高く、商業施設が増えることを望んでいる。また、がいなロードにベンチや植物をおいた小さな空間で、飲物を飲んで窓から電車を眺めたいといった意見もある。観光客が荷物を預けて回遊することができるようにするなど、来訪者にも優しい空間づくりも必要である。
課題5	「歩いて楽しいまち」のコンセプトの浸透 米子駅周辺に賑わいを求める声は多いが、歩道のベンチは邪魔になるなど、空間が狭いことへの不満もある。車道を減少させ、人が滞留できる空間をつくるなど、道路基盤を大きく変更することへの抵抗感を緩和する必要がある。そのためには、コンセプトを市民の皆さんに認識してもらう必要がある。